

耐衝撃設定フルHD 対応 2メガピクセル屋外 PTZ カメラ

PF-HD806



JAPAN SECURITY SYSTEM
Safety and trust keep to the future

安全上のご注意

■ お手入れの際、長期間使用しない場合
電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

■ 内部の掃除について
内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらない

注意

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷ついて、火災、感電の原因となることがあります。

■ ぬれた手で電源プラグをさわらない
感電の原因となることがあります。

■ コード類は正しく配線する
電源コードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して接続、配線してください。足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

■ 搬送・持ち運びについて

● 通電中は本機の移動は絶対に行なわないでください。

● 搬送する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルを外したことを確認して、ご購入時の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ衝撃や振動の少ない方法で行なってください。また、落下しないようご注意ください。

■ 分解したり、改造しない

危険

● 内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。

● 直流電源器として使用しないでください。

■ 電源電圧100V 以外の電圧で使用しない火災、感電の原因となります。

■ ぬらさない

● 水につけたり、ぬらしたりしないでください。火災、感電の原因となります。

● 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。

● 万一内部に水などが入った場合は、コンセントから抜いて、お買い上げ販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

警告

付属のAC アダプターをご使用ください。他のAC アダプターを使用するとコードの電流容量などの違いにより火災、感電の原因となります。

■ 他の機器に接続しない
感電の原因となることがあります。

■ 本機を幼児やお子様の手が届く範囲、またはペットの行動範囲内に接続しない誤ってAC アダプターのコードを首に巻きつけ、窒息を起こす原因となります。

■ 国外では使用しない
使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

■ ぬれた手でAC アダプターをさわらない
感電の原因となります。

■ コード類は正しく接続する

注意

AC アダプターのコードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して配線してください。
足などにコード類を引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

■ コードを傷つけない

AC アダプターのコードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。

また、コードを折り曲げたり、加工したり、ステーブルなどで固定しないでください。

■ 不安定な場所に置かない

● 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。

● 万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■ 使用場所の注意

発熱体（ストーブの前面）や直射日光が当たるところで、使用しないでください。

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするときは、すぐにAC アダプターをコンセントから抜く

警告

● 異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。

● 異常状態になった場合は、すぐにAC アダプターをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店にご連絡ください。お客さまによる修理は危険ですから、絶対におやめください。

■ 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら、AC アダプターには絶対に触れないでください。感電の原因となります。

■ AC アダプターとコンセントの注意

● コンセントにゆるみがある場合は接続しない

● AC アダプターはコンセントへ根元まで確実に接続する

● AC アダプターの差込み部が傷んでいる場合は使用しない

不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災や感電の原因になります。

● AC アダプターをコンセントから抜くときは、無理に引っ張らない差込み部やコードが傷み、火災や感電の原因になります。

● AC アダプターをコンセントに差し込んだまま、本機のDC 入力端子からDC プラグを抜いた状態にしない
ぬれた手で触ったり、口に入れたりすると感電の原因になります。

● AC アダプターとコンセントの接触部に、ほこりなどを付着させない

ほこりなどにより、ショートや発熱が起こり火災の原因になります。特に、湿度の高い部屋や結露しやすいところ、台所やほこりの溜まりやすい場所でのコンセントは注意してください。

ほこりの清掃

AC アダプターをコンセントから抜いて、金属部に付着したほこり、汚れを乾いた布で取り除いてください。

● コンセント付き延長コードを使用する場合は、接続する機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えないこと定格電力を超えると火災の原因になります。

警告

付属の電源アダプターは本機専用です。他の機器には使用しないでください。

安全上のご注意

正しくご使用いただくために必ずお守りください

■ 本機（風防）のお手入れ

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて柔らかい布で汚れを軽くふき取る
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたし、よく絞ってからふき取ってください。そして、仕上げは乾いた布でふいてください。

■ ご注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 本体に殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■ 長時間使用しないとき

電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

■ 個人情報の保護について

カメラシステムを使用して撮影する人物・その他の映像で個人を特定できるものは個人情報となります。個人情報の取扱いはシステムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。

警告

■ 搬送時は必ず購入時の梱包材を使用すること

カメラ本体ならびにコントローラーを搬送する場合は、ご購入の際の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ振動の少ない方法で行なってください。

目次

Chapter 1 イントロダクション	5
1.1 特徴	5
Chapter 2 取付 及び 設定方法	6
2.1 同梱物一覧	6
2.2 取付について	7
2.3 カメラシステムの基本構成	10
2.4 カメラ ID の設定	11
2.5 接続	11
2.6 起動	12
Chapter 3 プログラムと動作	13
3.1 カメラ選択	13
3.2 メニュー画面へのアクセス	13
3.3 メニュー画面のコントロール方法	13
3.4 オートスキャン(ショートカット: SCAN)	14
3.5 プリセット(ショートカット: PRST)	16
3.6 プリセットプログラムのショートカット	18
3.7 ツアー(ショートカット: TOUR)	18
3.8 パターン(ショートカット: PTRN)	20
3.9 プライバシーゾーン	21
3.10 カメラメニュー	23
3.11 カメラ通信	26
3.12 アラーム	27
3.13 カメラセットアップ	28
Appendix A 製品仕様	35
Appendix B トラブルシューティング	37
Appendix C ショートカットキー一覧	38

Chapter 1 – Introduction

1.1 特徴

この PTZ カメラとコントローラーは使用すれば、様々な監視・防犯システムを構築する事ができます。マルチプレクサーや複数のカメラを使用する事により、モニタリングスペースを広くとる必要はなくなります。

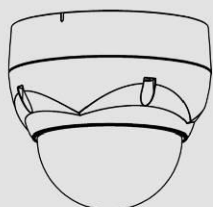
- True Night ショット機能を搭載した光学ズーム搭載
- 個々のカメラの AE セットアップにより 240 のプリセット設定が可能
- プリセット、パターン、オートスキャンやその他ツアーから構成される 8 種類のツアーはプリセット場所や 300 以上の機能をプログラミング可能。動作中は、ベクタースキャンモードでスムーズに閲覧する事ができます。
- ノーマル、ベクター、ランダムモードを備えた 16 のオートスキャン機能や、13 段階の変速が可能なエンドレスオートパン機能
- 最大 500 秒までの 8 パターンやプライベートゾーン
- アラーム入力 4 系統、アラーム出力 2 系統 (5VTTL)
- 0.1 度/秒～380 度/秒の可変機能
- 3 段階の可変スピード設定 (SLOW, NORMAL, TURBO) *Turbo speed 380 度/秒
- パンチルトスピードは、ズーム比に反比例します
- 最速スピードは、380 度/秒 (プリセット使用時)
- 0.1 度 ~ 6 度 (チルト範囲 : 0.1 度 ~ 180 度) のオートコラボレーション
- アラーム、プリセット、チルト等機能
- 180 度 デジタルフリップ
- 最大 3999 このカメラアドレスを設定可能
- DVR を使用してのパターン、スキャンなどの機能操作が可能
- RS-485 のレシーバー/ドライバー内蔵
- 12VDC or 24VAC

Chapter 2 – 取付と設定

2.1 付属品一覧

本製品には以下の付属品が含まれております。

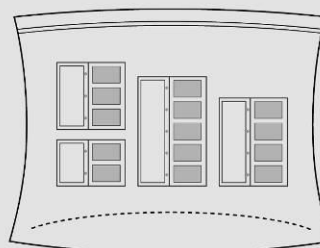
* カメラ本体	1
* 取扱説明書	1
* テンプレート	1
* 取付ブラケット	1
* 脱落防止ワイヤー	1
* アクセサリーキット	1
1) 取付ネジ (PH6 x 35.0)	4
2) プラスチックアンカー	4
3) Oリング	4
4) トルクレンチ	1
* コネクターセット	1
1) 2極端子台	1
2) 3極端子台	1
3) 4極端子台	1
4) 5極端子台	1



カメラ本体



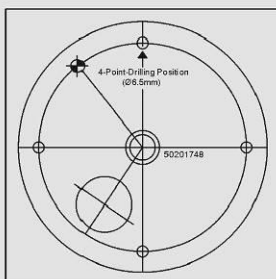
取扱説明書



コネクターセット



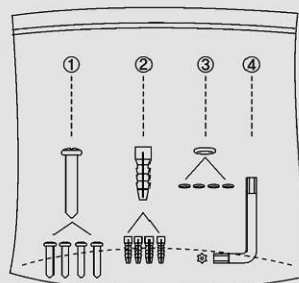
取付ブラケット



テンプレート



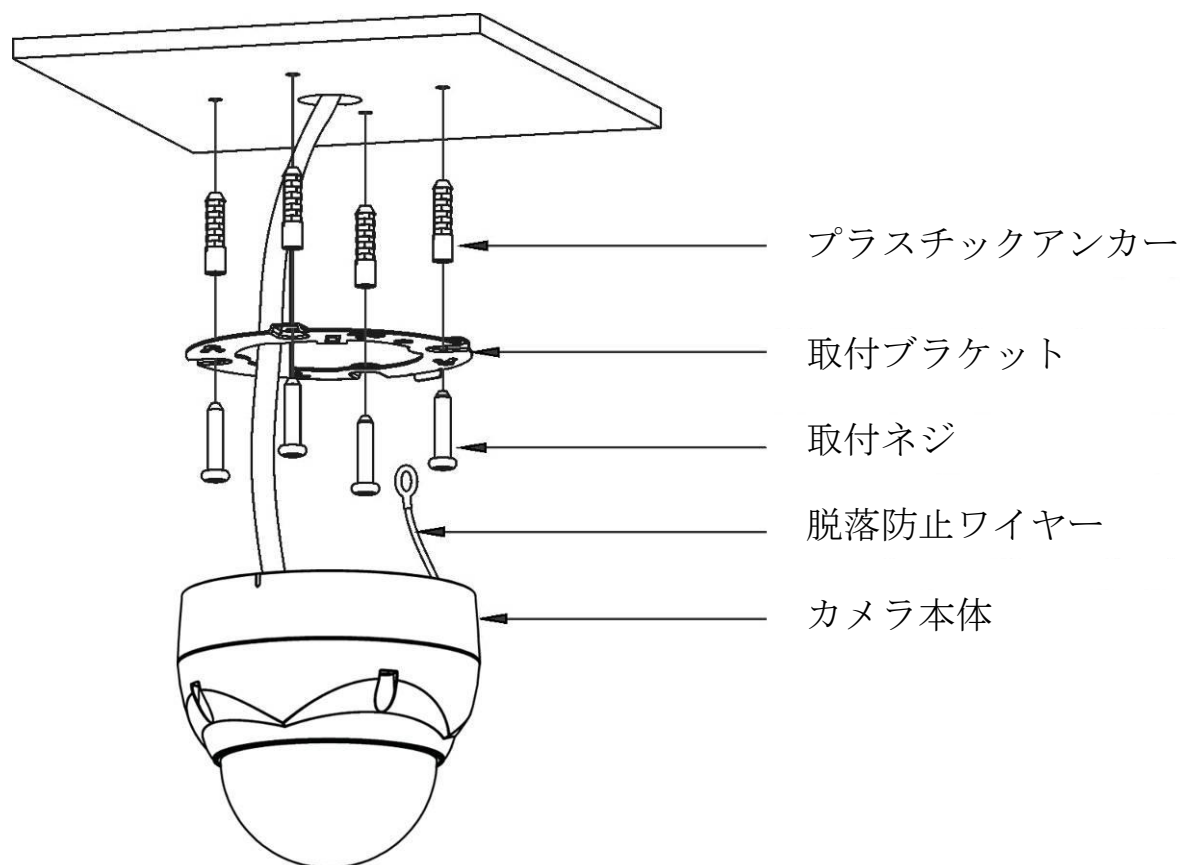
脱落防止ワイヤー



アクセサリキット

2.2 取付について

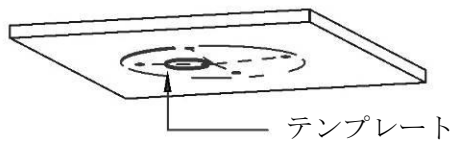
このカメラの取付に使用される取付ブラケットは1.6kgの重量までサポートします。
このドームカメラに付属されている取付ブラケットは、このドームカメラの重量に耐えうる構造物（硬材・間柱・天井の垂木）に取付可能である



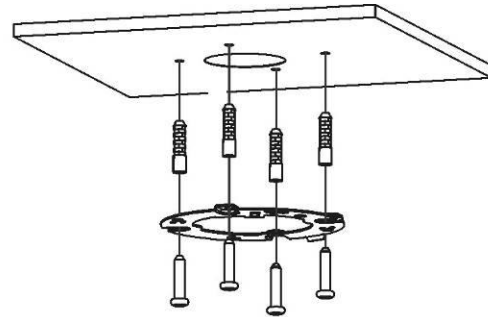
注意：カメラ本体の通線穴に装着しているシーリング材(黒色)は防水対策の為、確実に密封して下さい。

2.2.1 ドームカメラの固定

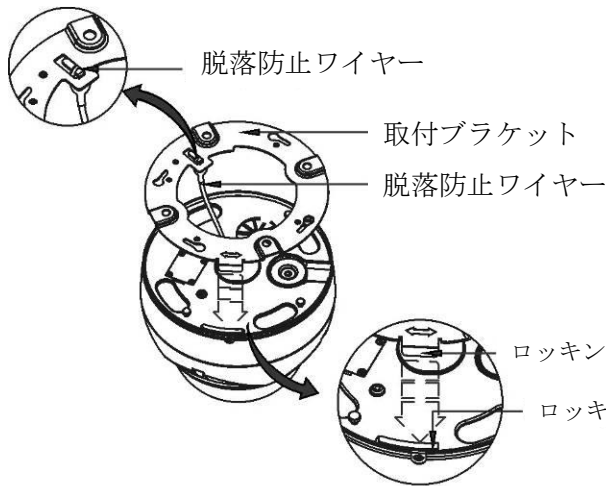
- A. テンプレートシートを使い、ねじ穴位置を決定する（右図 A）
- B. アンカーと取付ねじを取付ブラケットに固定（右図 B）
- C. 取付ブラケットの安全用ストラップの引っ掛け穴にストラップをフックする（右図 C）
- D. ブラケット上の固定用つまみとドームベースの固定用の溝位置を調整する（右図 D）。
- E. 本体を固定位置に約10度反時計回りに回す（右図 E）



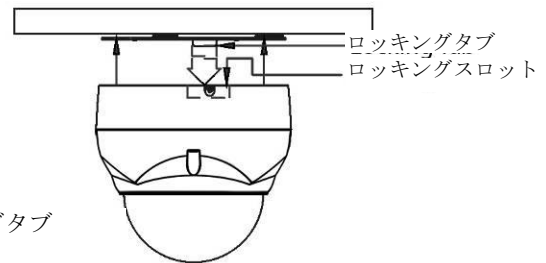
図A



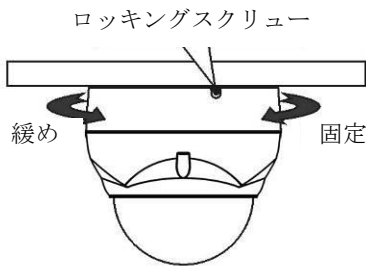
図B



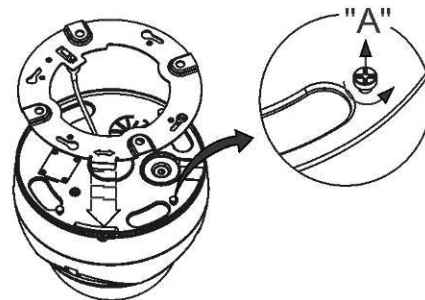
図C



図D



図E



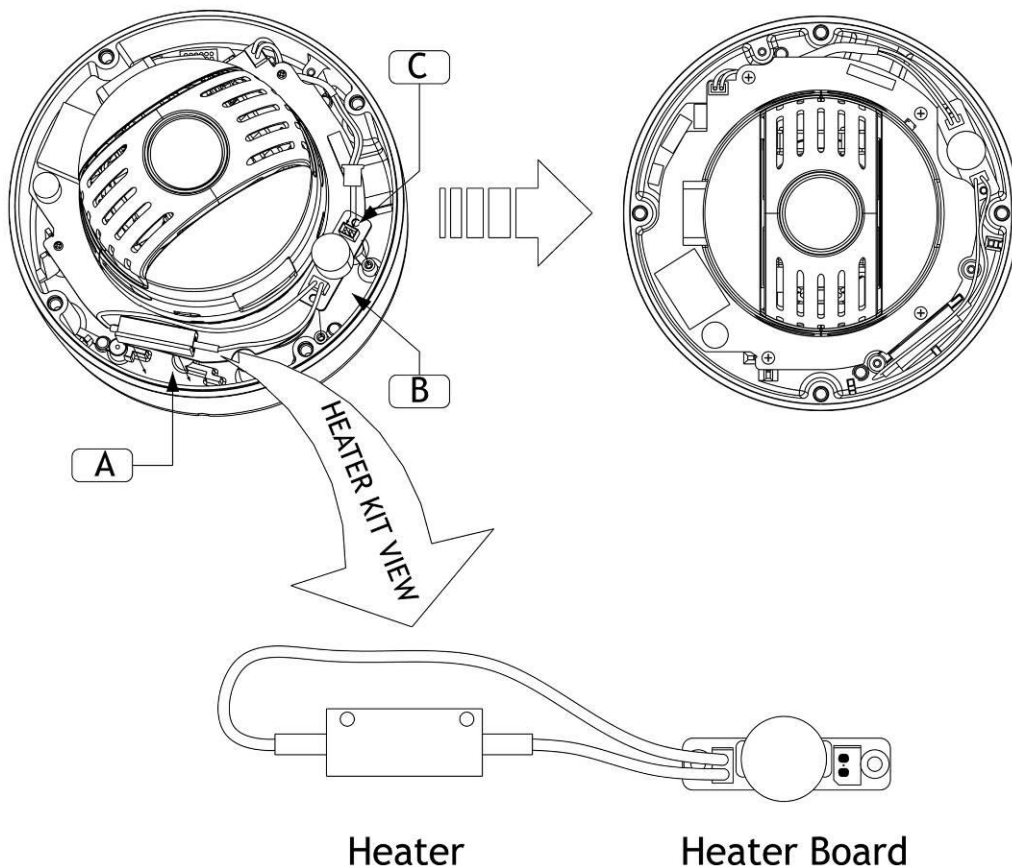
図F

注意： ブラケットを取付面に設置する前に、ブラケットの固定場所を合わせる為にドームカメラのベースに4つのねじを仮留めして下さい。ドームカメラのベース側の固定ねじを外し、固定溝の中に取付けブラケットのつまみを合わせて下さい。

固定位置に合わせた際は、ねじはきつすぎず緩すぎない様にして下さい。設置後、取付ブラケットを外し適切な位置に取付けて下さい。もし設置後、ドームカメラの固定が困難であれば、ねじを緩めもう一度取付をして下さい。

2.2.2 ヒーターKITの取付け

1. ヒーターボードを2つのボスとねじを使用し組立てる。下図“B”参考。
2. 下図“A”の溝にヒーターを設置する。
ヒーター用のケーブルはメインボードから離れた場所に設置する
3. 電源コネクタをヒーターボードの“C”に差し込む
4. 24VAC は、ヒーターKITの定常運転する為に必要です



- ・ ヒーター (オプションとして)

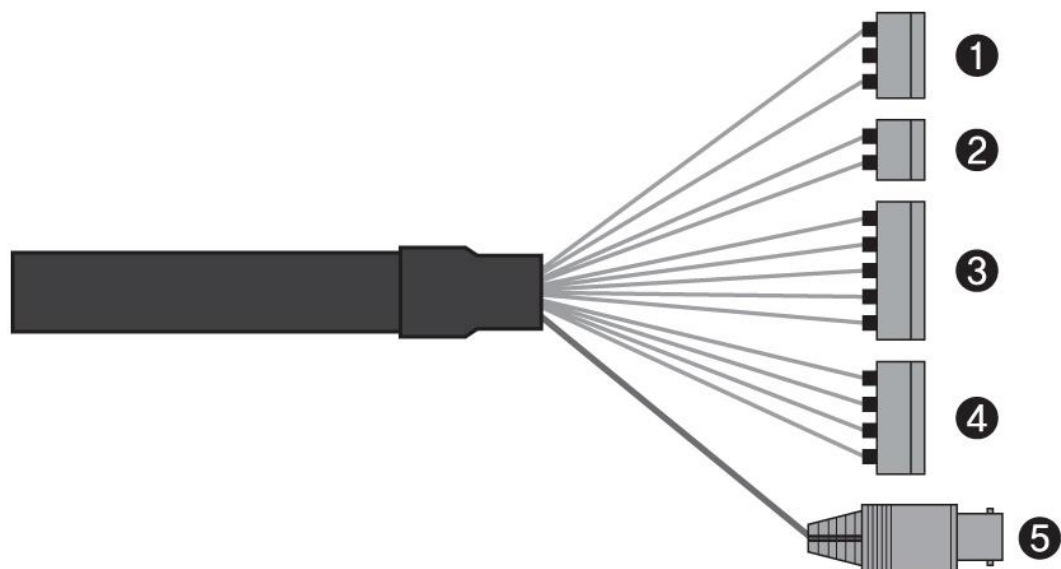
電力供給	24V AC
消費電流	10W
Heater ON	at 59° F (15° C)
Heater OFF	at 77° F (25° C)

- ・ 電源

IEC60950-1/UL60950-1 の 2.5 安全項目及びクラス 2.5 に準じている電源のみ使用が可能です。

注意: -10°C以下の環境下で取付けする際、30分後にカメラをリセットして下さい。

2.3 カメラシステムの基本設定



No.	形状	線色	仕様
1	3 極端子台	赤	電源 (DC12V) +
		白	電源 (DC12V) -
2	2 極端子台	緑	RS-485+
		青	RS-485-
3	5 極端子台	グレー	アラーム入力 1
		薄紫色	アラーム入力 2
		オレンジ	アラーム入力 3
		スカイブルー	アラーム入力 4
		黒	GND
4	4 極端子台	黄色	アラーム出力 1
		白黒	GND
		スカイブルー & 黒	アラーム出力 2
		オレンジ & 黒	GND
5	BNC ジャック	青	HD-SDI 出力

このドームカメラは、認定された施工業者以外の方は取付けしないで下さい。

2.4 カメラアドレス (ID) のセッティング

工場出荷時のカメラアドレスは「1」となっています。

同一の RS-485 通信に複数台のカメラを設置する場合は、それぞれのカメラに重複しないようカメラアドレスを設定して下さい。

2.5 接続

・ RS-485 の接続について

RS-485 を使用しての外部装置やコントローラーなどの操作システムにより、遠隔での操作が可能になります。

・ HD-SDI 出力コネクタへの接続

HD-SDI 出力 (BNC) コネクタから HD-SDI 入力対応の DVR やモニターへ接続します。

・ アラームへの接続

アラーム入力系統 (A1, A2, A3, A4)

イベント発生時にアラーム発報します。機械的/電子的なスイッチはアラーム入力系統 (A1~A4) そしてグラウンド (G) に配線出来ます。

チャプター3 を見て下さい - アラーム入力を構築する為のプログラムや操作

G (Ground)

メモ: “G” や “GND” と記入されている全てのコネクタは同じ内容です。

アラーム入力もしくはアラーム出力の端子側を G “グラウンド” コネクタに接続して下さい。

A0 (5VTTL アラーム出力)

このカメラは、ブザーや点灯の様な外部接続を有効 (アクティブ) にします。この装置をアラーム出力 (AC) や G (グラウンド) コネクタに接続して下さい。

チャプター3 を見て下さい - アラーム出力を構築する為のプログラムや操作

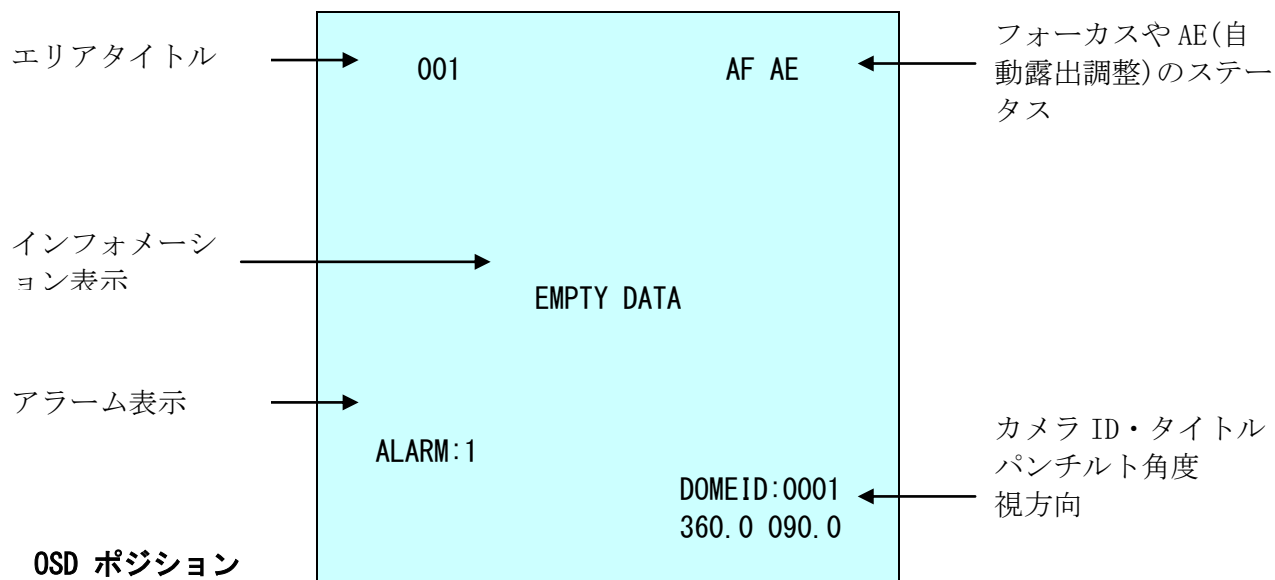
・ 電源を接続

DC12V 1A の AC アダプタを接続して下さい。

DC12V 1A アダプタを使用する場合、陽極を + 側に、陰極を一側に接続して下さい。

2.6 スタートする

電源をこのカメラに取付けして下さい。シーケンスが開始されます



Chapter 3 – プログラムと操作

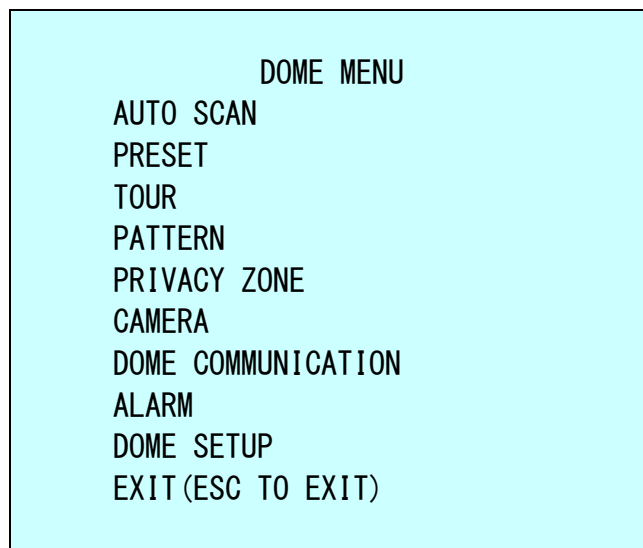
3.1 カメラの選択

このカメラをプログラミングもしくは動作する前に **No.** + **CAM** キーを押してカメラを選択しないといけません

例: NO.10 のカメラを選ぶ場合は **1** , **0** + **CAM** キーを連続に押して下さい。選択されたカメラ ID はコントローラーの LCD モニターに表示されます

3.2 メニュー画面へのアクセス

コントローラーの **MENU** キーを押す事によりモニターにメニュー画面を表示する事が出来ます



3.3 メニュー画面のコントロール方法

Function	Button
メニュー画面の呼び出し.	MENU
項目の選択	Joystick 上下
サイトメニューへ入る	Joystick 左右 IRIS Open
数値変更 タイトルモード編集入力	Joystick 左右 Zoom 回転 Tele , Wide
アングル値の変更	CTRL + Joystick
アングルモード変更入力	IRIS Open
アングルモード変更終了	IRIS Close
EXIT モード終了	ESC

3.4 オートスキャン (Shortcut: **SCAN**)

オートスキャン機能は、ユーザーの設定スピードを 17 段階までサポートします
オートスキャンの設定については以下の手順で行って下さい

AUTO SCAN SETUP	
NUMBER	: 01
TITLE	: A01
MODE	: NORMAL
SPEED	: 5 STEP
START ANGLE	: -----
END ANGLE	: -----
SCAN DIR	: CCW
SWAP	: OFF
DWELL	: 03 SEC
SAVE AND EXIT (ESC TO CANCEL)	

NUMBER : 01 ~ 08, 10 ~ 17, **09**: オートパンモード

タイトル : 6 文字まで設定

モード : NORMAL, VECTOR, RANDOM (オートパンモード: NORMAL, RANDOM のみ).

ノーマル : (左右振りのみ) スタートポイントからエンドポイントまで動きます

ベクター : チルト (上下振り) やズームを含めたスタートポイントからエンドポイントまでを同時に且つ直線的に動きます

ランダム : スタートポイントからエンドポイントの間をランダムで動きます

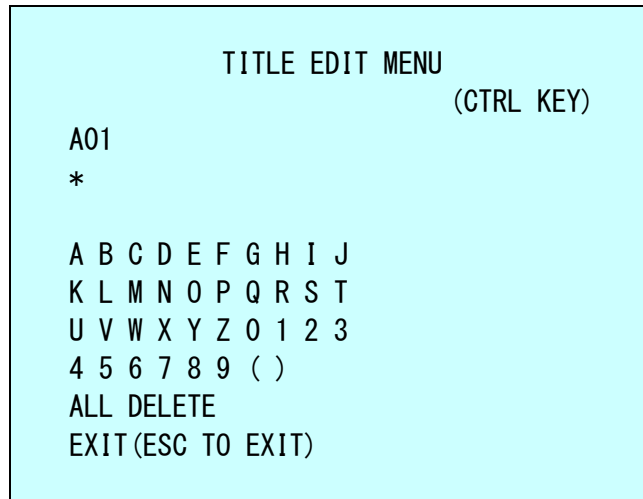
スピード : 1 ~ 13 段階 (低い数字=遅いスピード)

SCAN DIR : スキャン方向、CCW (反時計回り) CW (時計回り) をセットします

SWAP : スタートポイントとエンドポイントと交換する

DWELL : 01 ~ 99 秒の両端のドゥエルタイム (トランジションを取り込む時間をセットします)

1. オートスキャンメニューに直接入る為に **SCAN** ボタンを押して下さい。オートスキャンをスクロールし、ジョイスティックを右側に押して下さい。
2. “NUMBER” 項目を選び、ジョイスティックを左右に押して希望の番号をセットして下さい。
3. “TITLE” を選び、title 編集モードに入る為にジョイスティックを回して下さい
4. 英数字を変更する為にジョイスティックを回し、ジョイスティックを左右に押して次のポジションに動かして下さい。希望の数字の上で **CTRL** もしくは **IRIS Open** のボタンを押して下さい。(その後) カーソル位置は次のポジションに自動的に移動します。全ての数値を削除する場合は、ジョイスティックを左右に動かし、“ALL DELETE” を押して下さい。タイトル編集を終了したい場合は、ジョイスティックを左右に動かし “EXIT” を押して下さい。



5. “MODE” “SPEED” 項目を選んで下さい。
6. “START ANGLE” を選んで下さい。ジョイスティックを使いスタートポジションを選択している間、**CTRL** キーを押下げて下さい。現在のパン位置が表示されます。スタートポジションを決定する時は**CTRL** キーを離して下さい。“CONTROL” 表示を出す為に **IRIS Open** キーを押して下さい。希望の位置やズーム位置に動かして下さい。“CTRL” を消す為に **IRIS Close** キーを押して下さい。0.1 度間隔で調整する為にジョイスティックをパンフィールドやチルトフィールドに回して下さい。
7. “END ANGLE” を選んで下さい。エンドポジションを選択する為にジョイスティックを動かしている間、**CTRL** キーを押下げて下さい。エンドポジションはスタートポジション拡大されます。“CONTROL” 表示を出す為に **IRIS Open** キーを押して下さい。希望の位置やズーム位置に動かして下さい。“CTRL” を消す為に、**IRIS Close** キーを押して下さい。0.1 度間隔で調整する為に、ジョイスティックをパンフィールドやチルトフィールドに回して下さい。
8. “SCAN DIR” を CCW（反時計回り）か CW（時計回り）にセットして下さい。
9. “SWAP” を選択し、スタートアングルやエンドアングルを変更する為に ON をセットして下さい。
10. “DWELL TIME” をセットして下さい。
11. “SAVE AND EXIT” を選択し、ジョイスティックを左右に動かすか **IRIS Open** キーを押して下さい。セーブせずにプログラムを終了する時は **ESC** か **IRIS Close** キーを押して下さい

メモ：アングルフィールドで記憶されたデータを消す際は **HOME** キーを押して下さい。

プリセットポジションを使用し、ポジションを設定：

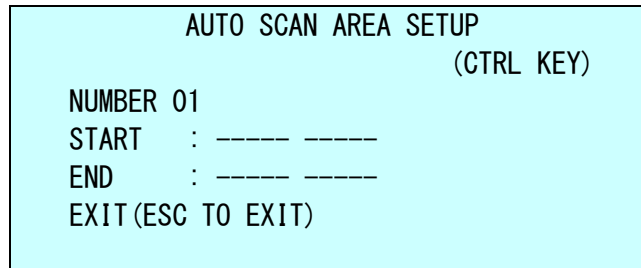
- a. オートスキャンメニューに入る前にオートスキャンのスタートポイントとしてプリセット位置を選択して下さい。

例：**2** + **PRST** キーを押し、上記 STEP 1~5 を行う。STEP 6 の際、スタートアングル位置で **Ctrl** キーを押して下さい。現在のポジションはスタート位置として表示されます

b. Save (記録) をメニューからの選出

c. ノーマルモードで、スキャンのエンドポジションになる様プリセットを呼び出します。 **3** + **PRST** キーを押し、オートスキャンメニューに入る為に **SCAN** キーを押しして下さい。カーソルをエンドアングルに動かして下さい。エンドアングルポジションで **CTRL** キーを押しして下さい。Save (記録) しメニューから退出して下さい。

アングルフィールド上の **SCAN** キーを押ししてOSDの小画面を表示させて下さい。



セッティングの手順は上記の通りです

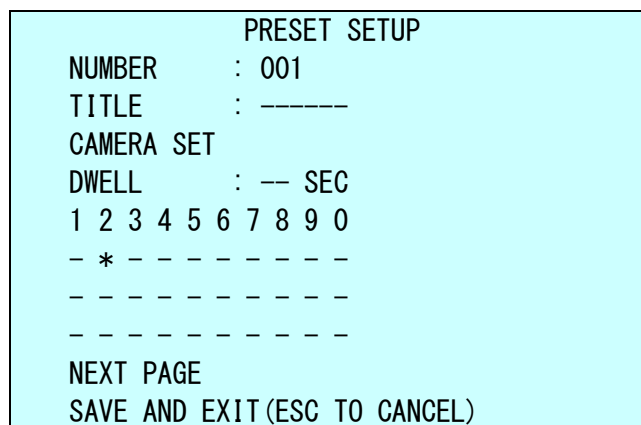
メモ: 09:オートパンモード(エンドレスパン)

3.5 プリセット (Shortcut: **PRST**)

もし特定の場所を定期的に関覧したい場合、プリセットのプログラム設定しなければなりません。プリセットはオートマティックパン、チルト、ズーム、フォーカス、モーションやAEセッティングを用いて映像出力をプログラムします。いったんプログラムされるとポジションを記憶し、コントローラーの **PRST** キーにより自動的に呼び出すことができます。さらにプリセットアラームアクションに割り当てたり、カメラのホームポジションに割り当てる事が可能です。240ものプリセットがプログラミング可能です。

プリセットメニューは3ページあります。1ページ当たり80のプリセットがあります。

ページはジョイスティックによりスクロール可能です。



- : ブランクプリセットポジション
- * : 入力可能場所
- : 現在のカーソル位置

プリセット位置を記憶する為に下記の方法に従って下さい

1. **PRST** キーを押し、直接プリセット画面に入って下さい。もしくはモニターにメインメニューを表示させる為に **MENU** キーを押して下さい
2. ジョイスティックを上下左右に動かしブランクのプリセットポジションに数値を記憶させて下さい
3. ブランクポジション選択後 **CTRL** キーを押したままにして下さい。カメラやレンズの方向をコントロールする為にジョイスティックをしようして下さい
4. カメラを指定位置に向けた後、**CTRL** キーを離して下さい。

カーソルはデータをセーブした後、“TITLE” を上に移動します。

その際、プリセットタイトルを編集する為に **Tele** もしくは **Wide** キーを押して下さい、

5. “CAMERA SET” を選択し、ジョイスティックを左右に押して下さい。そうすればプリセット設定が表示されます。

```
PRESET CAMERA SETUP
FOCUS : AUTO
AE SETUP
SAVE AND EXIT(ESC TO CANCEL)
```

Set FOCUSAUTO, MANUAL, ONE PUSH

“MOTION SETUP” を選択し、ジョイスティックを左右に押して下さい。

そうすれば MOTION 設定が表示されます。

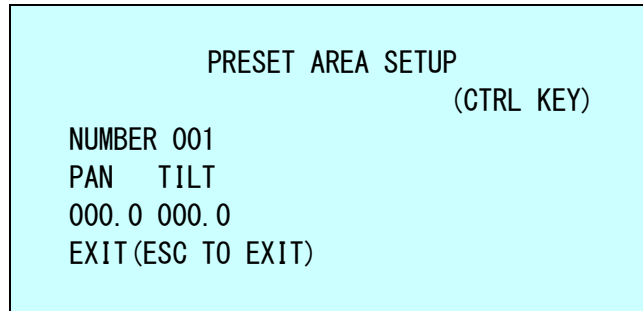
6. “DWELL TIME” のセット. (03 ~ 99 秒)
7. プリセットの次のページを選択し、最初もしくは最終列上にジョイスティックを押してスクロールして下さい。
8. 追加プリセットの場合は、ステップ2~7を繰り返して下さい。
9. “SAVE AND EXIT” を選択し、ジョイスティックを左右に押すか

IRIS Open キーを押して下さい。

プログラムを保存しないで終了する場合は、**ESC** or **IRIS Close** キーを押して下さい。

メモ: プリセットプログラムを削除する場合は設定されたプリセットポジション上の **HOME** キーを押して下さい。

* マークがある場所はすでにプリセットが設定されています。設定されたプリセット情報を見る場合は、* マークの上で **PRST** キーを押して下さい。



希望するシーンを選択している間にジョイスティックを使用し **CTRL** キーを押し下げてください。現在のポジションが表示されます。完了する時は **CTRL** キーを離して下さい。もしくは“CONTROL”が表示されている際に **IRIS Close** を押して下さい。希望の場所やズームポジションに動かして下さい。**IRIS Close** キーを押すと“CONTROL”表示は消えます。“EXIT”を選択し、ジョイスティックを右に押して下さい。

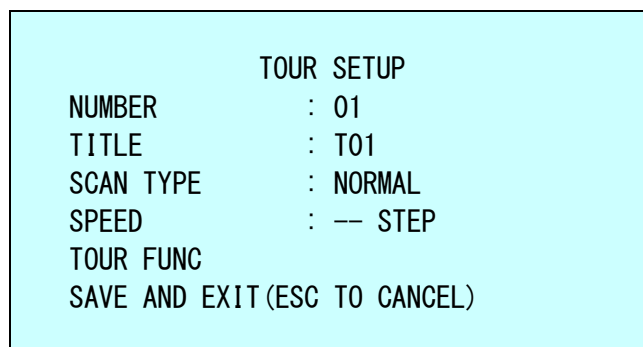
3.6 プリセットプログラムのショートカット

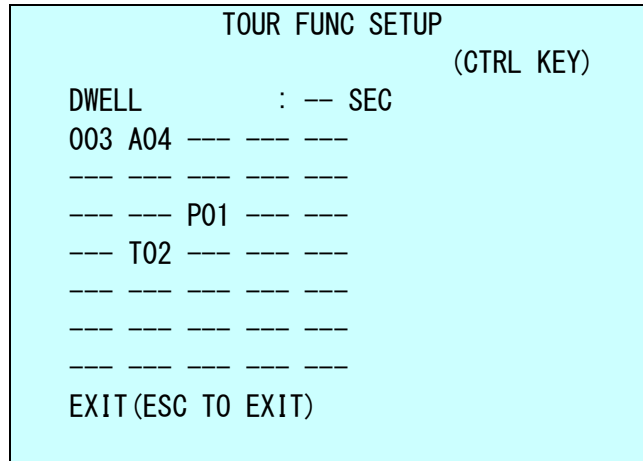
希望のシーンを選択した後、No. 1~240 を押し、その次に **CTRL** と **PRST** キーを押して下さい。もしプリセット番号が空いていたら、現在のビューが選択されたプリセット No. に記録されます。もしプリセット No. が空いていなかったら、モニター上に“OVER WRITE”のメッセージが表示されますので、“OK”を選択し、上書きする為にジョイスティックを右に押して下さい。

例: **1**, **0**, **1** + **CTRL** + **PRST** → プリセット No. 101 で記録されます。
 この場合、フォーカスはオートにプログラムされ、ドゥエルタイムは 3 分にされ、現在の AE モードがプログラムされます。

3.7 ツアー (ショートカット: **TOUR**)

ツアーは 8 件までプログラムする事が出来ます。それぞれのツアーは 42 のプリセットポジションパターンその他のツアーから構成されます。2 次ツアーを使用する場合、1 つのツアーの中に 300 以上の機能まで拡張する事ができます。





--- Blank position
 SCAN TYPE NORMAL, VECTOR
 DWELL 03 ~ 99 seconds
 003 Preset (1 ~ 240)
 A04 Auto Scan (1 ~ 8, 10 ~ 17)
 P01 Pattern (1 ~ 8)
 T02 Tour (1 ~ 8)

ツアーのプログラムをする場合は下記手順に従って下さい。

1. モニター上にメインメニューを表示する為に **MENU** キーを押して下さい。ツアーまでスクロールさせ、ツアーメニューに入る為にジョイスティックを右に押して下さい。
2. “NUMBER” を選択し、ジョイスティックを左か右に押して希望の番号にセットして下さい。
3. ジョイスティックを上下左右に動かしblankポジションを選択して下さい。
4. 記録されたプリセットを追加する為に、ジョイスティックを回して下さい。その際、記録されたプリセット番号は表示されます。
5. プリセット以外の機能をセットする為に、ツアー、パターンやオートスキャン設定用の **TOUR**, **PTRN** もしくは **SCAN** キーを押して下さい。
6. ツアーのプログラムされた番号の上書、もしくは削除をしたい場合、ツアーメニューで記録された番号の上で **HOME** キーを押して下さい。
7. それぞれの希望のポジションで上記手順 2~6 を繰り返して下さい。それぞれのタイトルがラインの上に表示されます。
8. “TITLE” を編集する為に、先述したタイトル編集を参考にオートスキャンの手順に従って下さい。
9. “SAVE AND EXIT” を選択し、ジョイスティックを右に押すか **IRIS Open** キーを押して下さい。セーブせずプログラムを終了する場合、**ESC** キーか **IRIS Close** キーを押して下さい。

他のプログラムされたツアーを呼び出すことによりシーケンスを拡張できます。

メモ: スピードはベクターモードのみ適用されます。

メモ: プリセットとオートスキャンが組み合わされているツアーモードで、カメラを特定のスピードでプリセットポジションから他のプリセットポジションまで動かす事が出来る。

例: プリセット 001→002→003→004→005→006, オートスキャンプリセット 002 で 01 スタート、プリセット 003 で終了

プリセット 005 でオートスキャン 002 スタート プリセット 006 で終了

ツアー内のプリセットのドウエルタイムの変更方法

記録されたプリセットポジションにカーソルを動かして下さい。PRST キーを押す事により、カメラは記録されたプリセットビューに動き、カーソルをドウエルタイム欄に移動します。ドウエルタイムを変更した後、PRST キーを押して、カーソルをプリセット番号に動かして下さい。

ファンクションキーが存在しない時に、ツアー内の他の機能の割当て方法

ジョイスティックを使いカーソルを記録されたプリセットポジションに動かして下さい。CTRL や IRIS Open キーを押す事によってプリセット番号を他の機能 (Auto Scan, Pattern, Tour や Preset) に変更する事ができます。

番号を変える為にジョイスティックを回すか Tele もしくは Wide キーを押して下さい。

3.8 パターン (Shortcut: PTRN)

パターンの特徴は、選択されたカメラのユーザーコントロールを記録する事です。8パターンまで記録が出来 No. と PTRN キーを押す事により再生する事ができます。

PATTERN SETUP			
(CTRL KEY)			
NO	TITLE	SEC	PERCENT
1	: P01	000	00.0%
2	: P02	000	00.0%
3	: P03	000	00.0%
4	: P04	000	00.0%
5	: P05	000	00.0%
6	: P06	000	00.0%
7	: P07	000	00.0%
8	: P08	000	00.0%
SAVE AND EXIT (ESC TO CANCEL)			

パターンをプログラムする為に下記手順に従って設定して下さい。

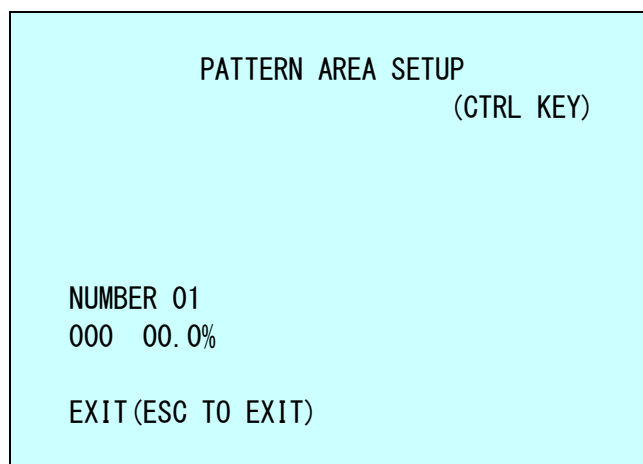
1. モニターにメインメニューを表示する為に **MENU** キーを押して下さい。パターンまでスクロールさせパターンメニューに入る為にジョイスティックを右に押して下さい。もしくはキーボード上で **PTRN** キーを押して下さい。
2. ジョイスティックを上下に押し希望のパターンを選択して下さい。
3. ジョイスティックでカメラ方向とズームのコントロールをしている間 **CTRL** キーを押し続けて下さい。**CTRL** キーを離すまで、自動的に記録されます。もしくは **IRIS Open** キーを押して下さい。そうすれば“CONTROL”の表示が出ます。ポジションやズームポジションを動かして下さい。**IRIS Close** キーを押すと“CONTROL”の表示は消えます。
4. “TITLE”を編集する為に、先述したタイトル編集を参考にオートスキャンの手順に従って下さい。
5. “SAVE AND EXIT”を選択し、ジョイスティックを右に押すか **IRIS Open** キーを押して下さい。セーブせずプログラムを終了する場合 **ESC** か **IRIS Close** キーを押して下さい。

メモ：パターンを削除する為に、いずれかのプログラムされたポジションの上で **HOME** キーを押して下さい。

メモ：パターンの記録時間が200秒に達した場合、しばらくの間、自動的にストップします。

小ウィンドウを表示させる為に、タイトルフィールド上で **PTRN** キーを押して下さい。

そうすると以下の様にスクリーンが表示されます。



セッティングの手順は上記と同じです。

3.9 プライバシーゾーン

カメラ上の希望しない項目を8つまでかくす事が出来ます
プライバシーゾーンは2ページあります。それぞれのページは4つのプライバシーゾーンを持っています。

```

                PRIVACY ZONE SETUP
    (CTRL KEY)
    NO      METHOD  COLOR
    01  ON   BLOCK  GRAY
    02  ON   BLOCK  GRAY
    03  OFF  ----- GRAY
    04  OFF  ----- GRAY
    NEXT PAGE
    SAVE AND EXIT (ESC TO CANCEL)
  
```

1. タイトルフィールドにカーソルを置いて下さい。
2. ジョイスティックを使い位置を選択している間、プライバシーエリアメニューを表示させる為に **CTRL** キーを押し下げてください。現在地が表示されます。位置の選択を終了させるには **CTRL** キーを離して下さい。もしくは **IRIS Open** キーを押して下さい。そうすればプライバシーエリアメニューが表示されます。希望の位置を選択して下さい。“CONTROL”の表示を消し、前のメニューに戻る為には **IRIS Close** キーを押して下さい。

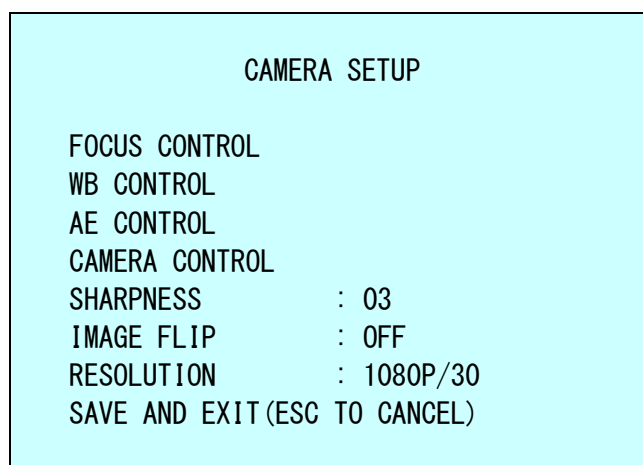
```

                PRIVACY AREA MENU
                                (CTRL KEY)
    NUMBER 01
    354.8 344.8
    EXIT (ESC TO EXIT)
  
```

3. カーソルをタイトルフィールドに置いて下さい。タイトル編集モードに入る為にジョイスティックを左右に回して下さい。前項で記載したオートスキャンの手続きに従って下さい。
4. 保存したゾーンのON/OFFに切り換える為に、ジョイスティックを左右に回すか **Tele** もしくは **Wide** キーを押して下さい。
5. “METHOD” “BLOCK” もしくは “V.OFF (video off)” にセットして下さい。
6. “SAVE AND EXIT” を選択して下さい。そしてジョイスティックを左右に押すか **IRIS Open** キーを押して下さい。セーブせずにプログラムを終了する場合は **ESC** もしくは **IRIS Close** キーを押して下さい。

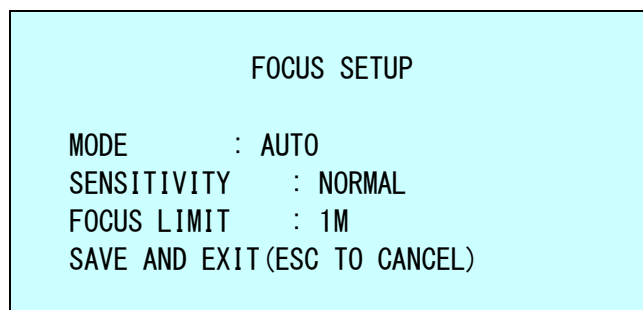
メモ：プライバシーゾーンを削除する場合は、タイトルフィールドで **HOME** キーを押して下さい。

3.10 カメラメニュー



シャープネス 値を大きくするほど画像のエッジが強調されます (0 ~ 15)
イメージフリップ この機能は映像表示を水平または垂直方向に反転させます
解像度 1080P/30, 1080P/25, 1080P/60, 1080P/50, 1080I/60, 1080I/50, 720P/60, 720P/50

・ 焦点コントロール



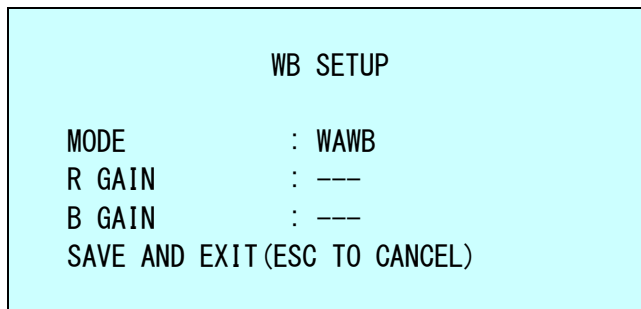
モード AUTO / MANUAL / ONE PUSH / CONSTANT MANUAL

通常使用では、マニュアルモードを使います

焦点リミット この距離は概算値であり、焦点は設定値から起動します

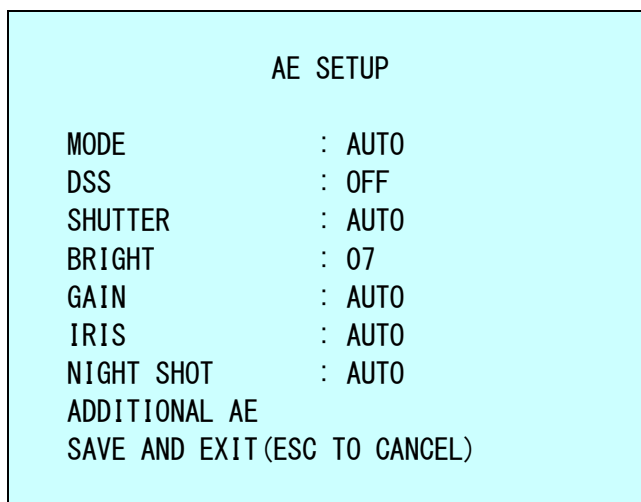
注意: オートフォーカスの 24 時間連続使用は避けて下さい。これはレンズの使用期限も短くさせます

・ WB (ホワイトバランス) コントロール



- MODE AUTO, WAWB, MANUAL, INDOOR, OUTDOOR, FLUORESCENT, SODIUM LAMP
 AWB 全画面からの色情報を用いて自動的にホワイトバランス値を算出します
 WAWB AWBのワイドレンジモードです
 MANUAL マニュアルモード、赤と青のゲイン値を手動で変更します
 INDOOR 屋内ホワイトバランスモード
 OUTDOOR 屋外ホワイトバランスモード
 RGAIN : 0~255、BGAIN : 0~255
 ※RGAIN / BGAIN モードはマニュアルモード時のみ調整ができます
 FLUORESCENT 蛍光灯の環境で使用する場合に設定します。
 SODIUM LAMP ナトリウム灯の環境で使用する場合に設定します。

・ AE CONTROL



- MODE AUTO, MANUAL, S. PRIO, I. PRIO
 AUTO 自動露出モード
 MANUAL 可変アイリス、シャッタースピード
 S. PRIO 可変シャッタースピード、オートアイリス
 I. PRIO 可変アイリス、オートシャッタースピード

DSS OFF, x2 ~ x6
 SHUTTER 1/5, 1/10, 1/15, 1/25 (30), 1/50 (60) ... 1/6000, 1/10K
 BRIGHT 0 ~ 12
 GAIN 0 ~ 21
 IRIS F2.1 ~ F14
 NIGHT SHOT AUTO, ON, OFF, GLOBAL

NOTE: ()内の数値は、NTSC カメラの数値となります。

ナイトショット機能はカメラのIRカットフィルターを取り除き、赤外線に近づけ感度を上げて下さい

AUTO 光量が少ない場合、カメラはBWモードになります
 GLOBAL キーボードによりコントロールできます
 (NOTE: グローバル機能はF2Eプロトコルのみ起動します)

同じ時間に全てのカメラを NIGHT SHOT モードに設定する事が出来ます。
 もし NIGHT SHOT モードが GLOBAL に設定されていたら、“999” + **ENTER** で本機能をオフにする事が出来“888” + **ENTER** でオンにする事が出来ます

ON B/W mode
 OFF Color mode

メモ：ナイトショット機能中はAE コントロールのモードは” MANUAL” になります。

追加 AE

ADDITIONAL AE SETUP	
BLC	: OFF
WDR	: OFF
DEFOG	: OFF
WDR&DEFOG GAIN	: --
AE RESPONSE	: 05
HIGH SENSITIVITY	: OFF
EXIT(ESC TO EXIT)	

BLC OFF, ON
 WDR OFF, ON (メモ:ONの時、DEFOGは無効になります)
 DEFOG OFF, ON (メモ:ONの時、WDRは無効になります)
 WDR&DEFOG GAIN 0 ~ 4
 AE RESPONSE 1 ~ 30
 HIGH SENSITIVITY OFF, ON

・ カメラコントロール

CAMERA CONROL	
CHROMA	: 08
2DNR	: 02
3DNR	: ON
AGC LIMIT	: 18
DN THRESHOLD	: 05
SHADING	: OFF
SAVE AND EXIT(ESC TO CANCEL)	

CHROMA	0 ~ 16
2DNR	0 ~ 10
3DNR	OFF, ON
AGC LIMIT	0 ~ 21
DN THRESHOLD	0 ~ 10
SHADING	OFF, ON

3.11 カメラ通信

悪用されない為に、それぞれのドームカメラのIDは独特な数値を設定して下さい。
工場出荷時の数値は、「1」となります。

DOME COMMUNICATION	
	*
DOME ID	: 0001
PROTOCOL	: AUTO
BAUDRATE	: 9600
PARITY	: NONE
TERMINATION	: OFF
SAVE AND EXIT(ESC TO CANCEL)	

DOME ID	1 ~ 3999
PROTOCOL	AUTO, F2/F2E, PELCO-PD
BAUDRATE	2400, 4800, 9600, 19200, 38400 bps
PARITY	NONE, EVEN, ODD
TERMINATION (RS-485)	OFF, ON

3.12 アラーム

ALARM SETUP						
(CTRL KEY)						
NO	PRI	FUN	IN	OUT	HLD	LATCH
1	1	001	NO	OUT1	03	OFF
2	1	---	OFF	OFF	03	OFF
3	1	---	OFF	OFF	03	OFF
4	1	---	OFF	OFF	03	OFF
DWELL			: 03 SEC			
ALARM OUT SETUP						
SAVE AND EXIT (ESC TO CANCEL)						

- NO** : アラームインプットナンバー
PRI (優先) : 小さい番号ほど優先度が高い (0 ~ 4)
FUN (Function) : アラームによって記録した番号を呼び出します
IN : NO/NC - 常時オープン/クローズ ignore 設定しない
OUT : ON - 5VTTL output, OFF - no output
HLD (Hold) : アラームはプログラムされた時間に発報されます (03 to 99 秒)
LATCH : ON - アラームインプットを解除した時でさえ、アラームメッセージを画面上に維持する事が出来ます
 OFF - アラームインプットを解除した時、設定した待機時間の後、スクリーンからアラームメッセージを消します。
ドゥエル : 3~99 秒間のマルチアラームの間のドゥエルタイムを意味します

ALARM OUT SETUP	
OUT1	: ALARM
OUT2	: 1 MIN
EXIT (ESC TO EXIT)	

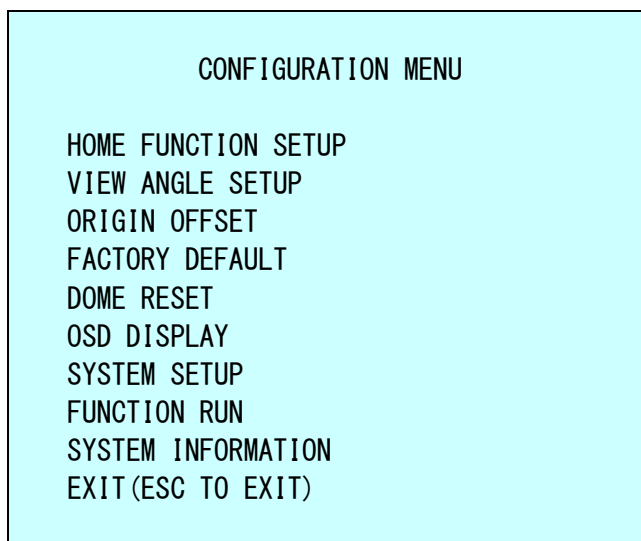
ALARM: アラーム出力は、アラーム起動中かキーボードのショートカットキーによって稼働します。

1 ~ 5 MIN(minute): アラーム出力は OSD メニュー、もしくはキーボードのショートカットキーにより設定された時間に稼働します

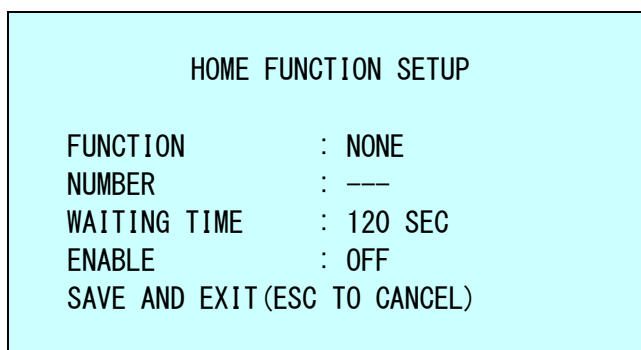
メモ: 上記の 1~5 MIN がアラームが機能しません

優先度の高い 5 段階があります。この機能はプリセット、オートスキャン、パターンやツアーにより選択する事ができ、" 0 " が最も優先度の高い意味合いになります。

13 カメラセットアップ



・ ホームファンクションセットアップ



FUNCTION (機能)	NONE, TOUR, PATTERN, AUTO SCAN, PRESET
NUMBER (番号)	---
WAITING TIME (待機時間)	10 ~ 240 seconds
ENABLE (機能設定)	ON/OFF

HOME FUNCTION は、設定した特定の待機時間の後、ツアー、パターン、オートスキャン、プリセットに自動的に向かわせる為のものです。例えば、コントローラーの待機時間が 120 秒の時、120 枚カメラはプリセット 1 に向かいます

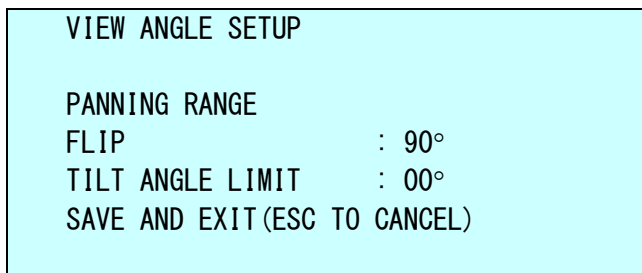
ホームポジションをプログラムする為に以下手順に従って設定して下さい

1. ジョイスティックを左右に押し “HOME FUNCTION” を選択して下さい。
2. “FUNCTION NUMBER” を選択し、ジョイスティックを左右に押しして下さい

記録された番号がスクロールされます

3. “WAITING TIME” を選択し、ジョイスティックを左右に押し待機時間を 10~240 秒間で選択して下さい
4. “FUNCTION ENABLE” を選択し、ジョイスティックを左右に押し、ON もしくは OFF を選択して下さい

・ 画角セッティング



フリップ: OFF, AUTO, 90°, 100°, 110°, 120°,

OFF: 垂直に 90°まで可動します

AUTO: カメラ可動時、直接底部まで達した時フリップは中止されます。同時にジョイスティックをすぐに離し、オートフリップ機能を稼働する為に再度ジョイスティックを押し下げてください。パン範囲を使用する時、フリップモードを AUTO に切り換える必要があります。

90°, 100°, 110°, 120°: フリップ角度を設定します

TILT LIMIT (限度) :

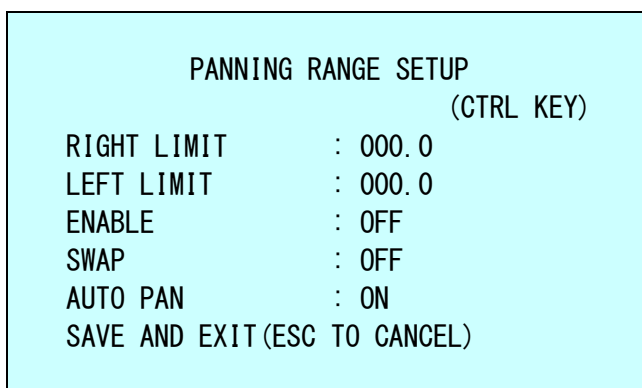
この機能は、設定したチルトアングルに障害物があった場合、この映り込みをしない様に為角度を制限する為のものです。

ON: この機能がONの時、チルトアングルの範囲は 10 度に制限されます。これは障害物やフォーカス問題を避ける為にあります。

OFF: この機能がOFFの時、チルトアングルの範囲は制限されません。

PANNING RANGE (パン範囲)

カメラが壁の近くに設置されている場合、ユーザーによってパン範囲を設定しないといけない



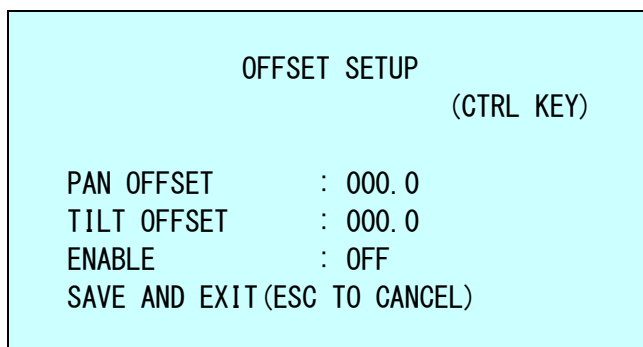
1. カメラを垂直 90° で設置してください
2. ジョイスティックを右に押し “RIGHT LIMIT” を設定して下さい。
3. ジョイスティックを左に押し “LEFT LIMIT” を設定して下さい。
4. “ENABLE” を ON に切り替えて下さい。

左右で制限値を交換する場合 “SWAP” を ON に設定して下さい。

オートパンを設定するには、“AUTO PAN” を ON に設定して下さい。

メモ: もしフリップモードが 90°、100°、110° もしくは 120° で 90° 以上垂直に動かす場合、パン範囲は反対側で作動します。

- ・ オリジナルオフセット

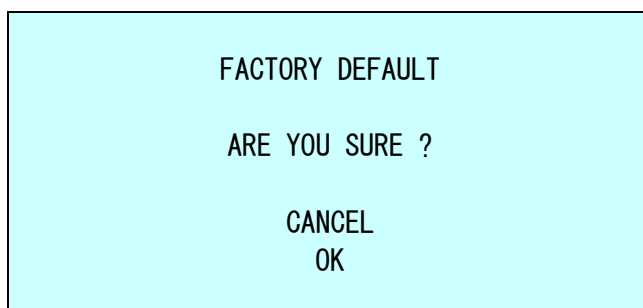


この機能の特徴は新しく設置するカメラの設定を以前登録されたカメラの設定に合わせる事ができます。

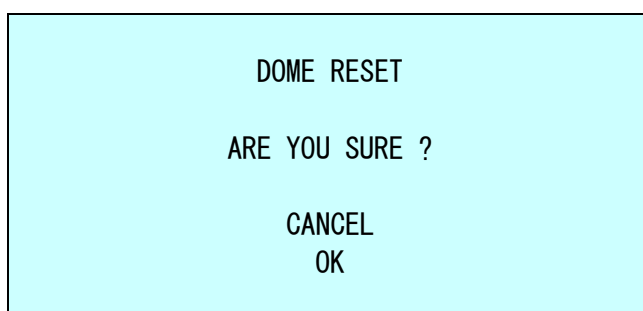
カメラのデフォルト値や全てのデータはオフセット値を無効にせずに初期化する事ができます。このメニューのデフォルト値のみ0（ゼロ）に設定されます。

- ・ 工場出荷時データに戻す

データを初期化するには、“FACTORY DEFAULT” を選択してください

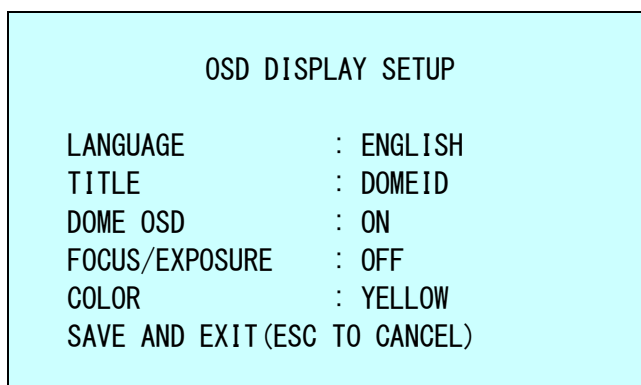


- ・ カメラリセット



この機能の特徴は選択されたカメラの位置確認を再測定する際に使います。デフォルトのオフセット値は、この機能による影響は受けません。

・ OSD 表示



言語 ご希望の言語を選択してください

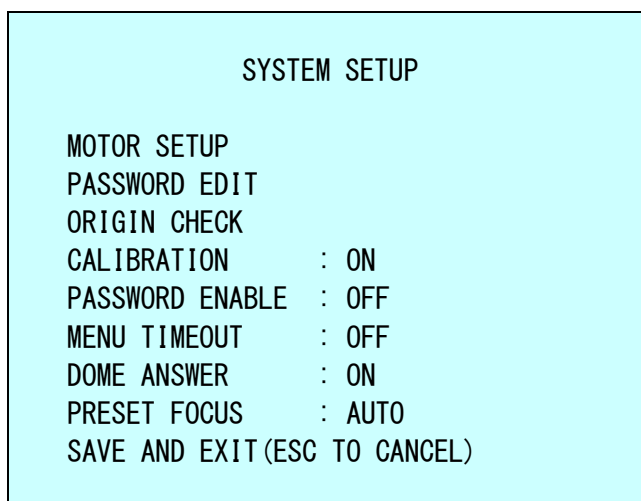
タイトル 最大 6 文字までタイトル入力ができます

カメラ OSD ON, OFF
 全ての表示 もしくは タイトルは DOME OSD DISPLAY が OFF の
 時、非表示になります

フォーカス/露出 ON, OFF
 ON: フォーカスと露出が表示されます (AF AE)

カラー YELLOW, GRAY, BLUE

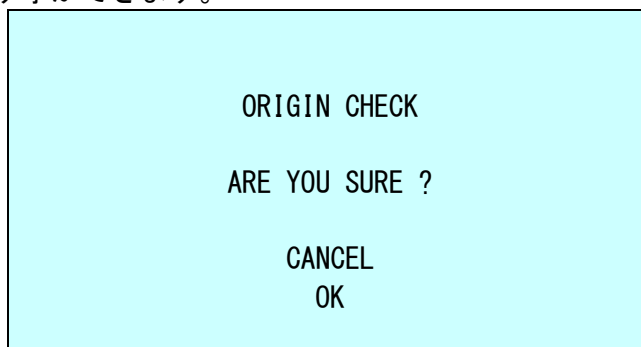
・ システムセットアップ



測定 : ON (Auto origin check) / OFF
 パスワード有効 : ON (メニューに入る時にパスワードロックをかける) / OFF
 MENU TIME OUT : ON (5分で消える) / OFF (常時表示)
 カーソルをちらつかせる : ON / OFF (no blinking cursor)
 DOME ANSWER : ON / OFF (カメラからの応答なし)
 このオプションは DVR を使ったコマンドの不一致を避ける事に役立ちます

ORIGIN CHECK

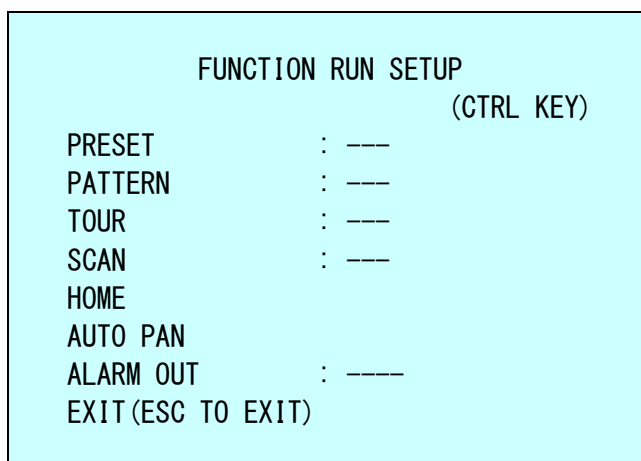
もし起動中に間違ったポジションのカメラ見つけた時、ORIGIN CHECK を遂行し、正しいポジションに戻す事ができます。



151 + **ON** を押す事で、origin check を遂行します

3.14 機能動作

この Function Run メニューは機能キー（プリセット、パターン、ツアー、スキャン）を使用せずにキーボードやDVRを使った時、この機能を使う事ができます。



1. ジョイスティックを上下に押し、希望の機能を選択して下さい。
2. ジョイスティックをプリセット、パターン、ツアー、スキャンに合わせる事で番号を選択して下さい。
3. 遂行する為には **CTRL** もしくは **IRIS Open** キーを押して下さい。

メモ：この機能を使う為に、まず最初に必要項目（プリセット、パターン、ツアー、スキャン）をセーブしないとけません。

- ホーム

“HOME” を選択し、**CTRL** もしくは **IRIS Open** キーを押して下さい。カメラはデフォルトのポジションに行きます。デフォルトポジションはプリセット、ツアー、パターンもしくはno actionのいずれとなります。

- オートパン

オートパンを選択する事によって、一方向に対し、エンドレスにパンを実行する事ができます

- アラームアウト

この機能はアラームアウトの設定がされている時のみ起動します。

```
ALARM OUT SETUP

OUT1   : ALARM
OUT2   : 1 MIN
EXIT(ESC TO EXIT)
```

CTRL もしくは **IRIS Open** キーを押すと、設定された時間中、アラームアウトが起動します。

・ システムインフォメーション

```
SYSTEM INFORMATION

CAMERA TYPE   : xxxx-Vx.xx
H/W VERSION  : Vx.xx
ROM VERSION   : Vx.xxxxx
PROTOCOL      : xxxx
BAUDRATE      : 9600 (NONE)

HD-SDI VERSION : Vx.xx
COAX. BAUDRATE : 40K
EXIT(ESC TO EXIT)
```

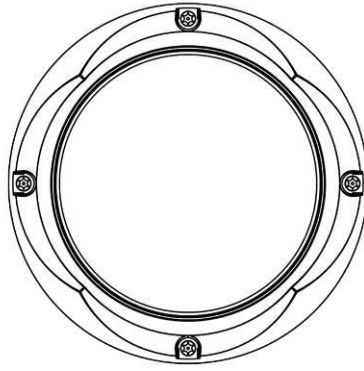
この「システムインフォメーション」は、カメラの仕様状況、環境、ROMバージョン等を表示する事もできます。この画面上のインフォメーションは、修正する事はできません。

Appendix A – 仕様

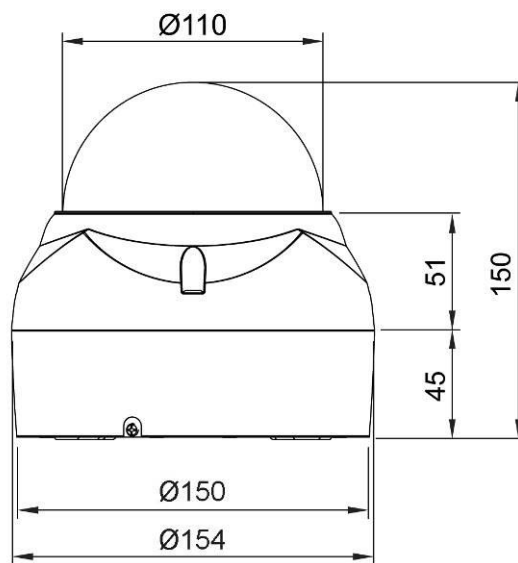
カメラモジュール	
イメージセンサー	1/2.8" SONY Exmor CMOS
スキャン方式	プログレッシブスキャン方式
光学ズーム	12倍
解像度	1920 x 1280
レンズ	f = 4.8~57.6mm
水平撮影範囲	64.2~5.9°
最低撮影照度	
カラー	0.5 Lux
白黒	0.1 Lux
WDR	有り
ドーム機能	
垂直可動角度	0~180° (フリップ機能あり)
映像反転	有り
オートキャリブレーション	0.1~6°
水平可動角度	360° 連続
警報出力	4入力、2出力(5VTTLレベル)
オートスキャン	1オートパン & 16オートスキャン
プリセット	240個所
パターン	8パターン(記録時間500秒以内)
ツアー	8件(1ツアーあたり40件まで)
最大速度	380° / 秒
プライバシーゾーン	8個所
電気的特性	
電源電圧/電源電圧(ヒータ付)	DC12V/AC24V ± 10%/ AC24V ± 10%
消費電流/消費電流(ヒータ付)	1.0A(12W)@DC12V/AC24V/1.5A(22W)@ AC24V
制御	RS-485、ボーレート 2400~19.2kbps(初期値 9600bps)
ID(カメラアドレス)	1~3999
重量	約 1.6kg
使用環境	
使用温度範囲/使用温度範囲(ヒータ付)	-10~50°C / -30~50°C
使用湿度範囲	0~90%RH(結露無き事)

仕様は予告なしに変更されます。

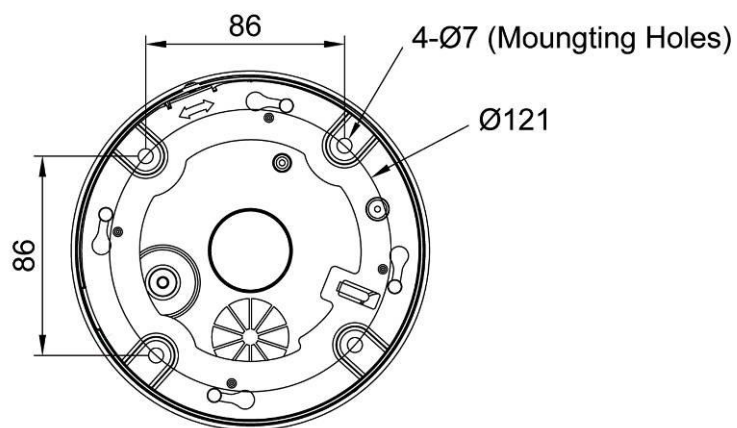
UNIT : mm



TOP VIEW



FRONT VIEW



BOTTOM VIEW

外形图

Appendix B – 故障かな? と思ったら

症状	確認事項
映像が出ない	全ての端子台の入力を確認してください。
映像が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> ● BNC コネクタは正しく接続されていますか？ ● カメラの電源電圧は正常ですか？(端子台で測定して下さい) ● 映像線に 5C-2V 又は 5C-FB ケーブルを使用していますか？
カメラが旋回しない／ 旋回し続ける	<ul style="list-style-type: none"> ● 制御線 (RS-485 線) は送り配線で配線されていますか？ 配線形状が星型や円状の場合は、一筆送り配線にして下さい。 ● 送り配線の末端カメラの TERMINATION (終端抵抗) が ON になっていますか？ OSD メニューの DOME COMMUNICATION で設定して下さい。 ● カメラが取付ブラケットに正しく装着されていますか？ ● カメラの電源電圧は正常ですか？(端子台で測定して下さい) ● カメラ、コントローラの通信条件は一致していますか？ ● カメラ ID は全て異なる数値を割り当てていますか？

Appendix C – ショートカットキー一覧

ショートカットキー	機能		
PRST	「Preset setup menu」を表示します		
TOUR	「Tour setup menu」を表示します		
PTRN	「Pattern setup menu」を表示します		
SCAN	「Auto Scan setup menu」を表示します		
No. + CTRL + PRST	選択された番号に現在の表示を保存します		
ショートカットキー	機能	ショートカットキー	機能
7 + ON	フォーカスを自動に設定します	7 + OFF	フォーカスを手動に設定します
8 + ON	アイリスを自動に設定します	8 + OFF	アイリスを手動に設定します
9 + ON	Change Night Shot to AUTO		
10 + ON	夜間モードを ON にします	10 + OFF	夜間モードを OFF にします
11 + ON	逆光補正を ON にします	11 + OFF	逆光補正を OFF にします
13 + ON	OSD メニューを ON します	13 + OFF	OSD メニューを OFF にします
104 + ON	WDR を ON にします	104 + OFF	WDR を off にします
150 + ON	映像を反転します	150 + OFF	映像を正転します
151 + ON	原点を確認します		
152 + ON	水平方向 0° にカメラを旋回させます		
153 + ON	低速モードに移行します	153 + OFF	高速モードに移行します
154 + ON	システム情報を表示します		
155 + ON	カメラを水平 180° 方向に反転します		
888 + ENTER	夜間モードを ON にします (標準設定時の場合のみ)		
999 + ENTER	夜間モードを OFF にします (標準設定時の場合のみ)		

JAPAN SECURITY SYSTEM
Safety and trust keep to the future
